

令和2年度

個性ある区づくり推進費

予算案

緑 区



令和2年度 個性ある区づくり推進費 事業一覧

[単位:千円]

No.	事業名	新規重点	R02予算	R01予算	増△減	所管課	ページ
自主企画事業							
① 安全・安心なまち			13,972	13,615	357		
1	災害に強いまちづくり事業	重点・拡充	7,567	7,410	157	総務課・福祉保健課	3
2	安全・安心まちづくり推進事業	拡充	1,967	1,760	207	地域振興課	4
3	交通安全対策事業		2,802	2,696	106	地域振興課	4
4	暮らしの衛生推進事業		1,636	1,749	△ 113	生活衛生課	5
② いきいき暮らせるまち			25,637	24,450	1,187		
5	健康たうん・みどり推進事業	重点	4,004	4,539	△ 535	福祉保健課	7
6	共に支えあう福祉保健の地域づくり事業	拡充	7,798	5,414	2,384	福祉保健課	8
7	あんしん子育てネットワーク事業		7,523	7,568	△ 45	こども家庭支援課	8
8	保育所すこやか子育て支援事業		2,717	2,721	△ 4	こども家庭支援課	9
9	DV対策・児童虐待防止事業		645	745	△ 100	こども家庭支援課	10
10	青少年地域サポート事業	拡充	1,479	859	620	地域振興課	11
11	高齢者生きがい推進事業		475	432	43	高齢・障害支援課	11
12	地域のささえ愛事業		449	449	0	高齢・障害支援課	11
13	高齢者あんしんサポート推進事業		152	578	△ 426	高齢・障害支援課	11
14	障害者自主製品販売支援事業		395	545	△ 150	高齢・障害支援課	12
△	高校生等自立支援事業	終了	0	600	△ 600	生活支援課	
△	みどり食育実践推進事業	統合	0	0	0	福祉保健課	
△	中学生等キャンパスチャレンジ事業	統合	0	0	0	こども家庭支援課	
③ みどりの魅力あふれるまち			58,310	59,808	△ 1,498		
15	身近で親しみやすい水辺環境づくり事業		1,600	2,340	△ 740	土木事務所	13
16	魅力ある公園づくり事業		450	450	0	土木事務所	13
17	花と緑あふれるふるさと緑区事業	新規	2,500	0	2,500	土木事務所	13
18	生物多様性保全に向けた遊水地等の環境整備事業	新規・重点	5,000	0	5,000	土木事務所	13
19	みどり！まるごと応援事業	拡充	4,064	3,415	649	区政推進課	14
20	みどり地域まちづくり推進事業		2,928	1,928	1,000	区政推進課	15
21	子どものまちづくりイベントMini Mini Midori	新規・重点	3,500	0	3,500	区政推進課	15
22	アートによる緑区の魅力発信事業	新規	4,500	0	4,500	区政推進課	15
23	みどり環境行動啓発事業	新規	1,000	0	1,000	区政推進課	15
24	読書活動推進事業		500	300	200	地域振興課	16
25	緑・芸術文化事業	拡充	3,611	2,523	1,088	地域振興課	16
26	3R推進事業		2,147	2,146	1	地域振興課	17
27	きれいなまちづくり事業		2,318	2,151	167	地域振興課	17
28	緑区商店街振興事業 【前年度:足を運んでみよう!商店街事業】	拡充	2,810	1,308	1,502	地域振興課	18
29	区民まつり事業		5,400	4,900	500	地域振興課	18
30	地域振興事業		2,189	1,935	254	地域振興課	18
31	市民活動パワーアップ支援事業		3,572	2,872	700	地域振興課	19
32	みどりスポーツ振興事業		1,795	1,981	△ 186	地域振興課	19
33	広報・広聴事業	拡充	2,763	1,881	882	区政推進課	20
34	区民から親しまれる区役所づくり事業		5,663	4,132	1,531	総務課	20
△	緑区制50周年記念事業 【前年度:緑区制50周年準備事業】	終了	0	12,532	△ 12,532	区政推進課	
△	緑区制50周年お祝いメッセージ配付事業	終了	0	700	△ 700	戸籍課	
△	住み続けたいふるさと緑区事業	終了	0	11,000	△ 11,000	土木事務所	
△	子ども達の夢の緑区推進事業	終了	0	1,314	△ 1,314	地域振興課	
自主企画事業費 計			97,919	97,873	46		
SDGs未来都市推進事業							
	SDGs未来都市地域主体型事業 地域のつながりづくり推進事業	終了	0	1,000	△ 1,000	区政推進課	

令和2年度 個性ある区づくり推進費 予算（案）総括表

[単位：千円]

区 分	R02予算	R01予算	増△減
1 自主企画事業 (34事業)	97,919	97,873	46
(1) 安全・安心なまち (4事業)	13,972	13,615	357
(2) いきいき暮らせるまち (10事業)	25,637	24,450	1,187
(3) みどりの魅力あふれるまち (20事業)	58,310	59,808	△ 1,498
【重点政策事業】 4事業 総額 20,071千円			
◆災害に強いまちづくり事業 * (1) で計上		7,567千円	
◆健康たうん・みどり推進事業 * (2) で計上		4,004千円	
◆生物多様性保全に向けた遊水地等の環境整備事業 * (3) で計上		5,000千円	
◆子どものまちづくりイベントMini Mini Midori * (3) で計上		3,500千円	
2 統合事務事業費	44,418	43,765	653
(1) 統合事務費	24,695	24,333	362
(2) 統合事業費	19,723	19,432	291
3 区庁舎・区民利用施設管理費	580,313	570,046	10,267
(1) 区庁舎等	98,562	98,013	549
(2) 地区センター等	423,330	418,082	5,248
(3) 公会堂	41,878	41,499	379
(4) 区庁舎・区民利用施設修繕費	7,513	6,347	1,166
(5) その他（広場・遊び場等）	9,030	6,105	2,925
4 SDGs未来都市推進事業	0	1,000	△ 1,000
SDGs未来都市地域主体型事業 地域のつながりづくり推進事業	0	1,000	△ 1,000
合 計	722,650	712,684	9,966

令和2年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

① 安全・安心なまち 13,972千円

1 災害に強いまちづくり事業【重点・拡充】 7,567千円

災害に迅速かつ的確に対応できる体制を強化するとともに、行政・地域・団体等が連携し、地震、風水害等の危機に対して日頃から地域や個人で備える取組を推進することにより緑区全体の危機管理能力を高め、誰もが安全で快適に暮らせるまちづくりを進めます。

(1) 区本部機能強化事業

- ア 災害時に円滑に行動できるよう区本部運営訓練の実施（1月）
- イ 災害対策本部の運営や避難所の対応強化にかかる必要備品の拡充（9月）
- ウ 区職員に対する救命講習を実施することによる緊急時の応急救護体制の確保（10月）
- エ 大地震及び風水害発生時に区役所が迅速に対応できるよう防災研修会の実施（6月、9月）
- オ 地域 BWA の追加配備に伴う情報受伝達ツール購入（11月）

(2) 地域防災拠点等強化事業

- ア 地域防災拠点の備蓄品の在庫点検、資機材の保守点検及び修繕（全拠点、7月、2月の年2回）
- イ 地域防災拠点運営委員情報共有会の実施（2月）
- ウ 地域防災拠点運営委員を対象とした資機材取扱講習

(3) 緑区防災ネットワーク事業

- ア 防災講演会の実施（3月 緑公会堂）
- イ 防災ネットワーク運営委員会（4月）
- ウ 防災ライセンスネットワーク連絡会（資機材取扱研修）の開催（5月）
- エ 防災ライセンスネットワーク会員への救命講習（上級）の実施（11月）

(4) 減災行動啓発事業

- ア ハザードマップ等を活用した小学生を対象とする減災マップ作りワークショップの開催
- イ 小中学生等を対象とした啓発事業の実施
- ウ 地域や学校等を対象とした災害図上訓練（Dig・HUG訓練）の実施
- エ 小学生向けの夏休み防災自由研究を開催（8月）

(5) 緑区防災計画「風水害編」の修正

市防災計画の修正に伴い、区防災計画を修正し製本化

(6) 災害時要援護者支援事業補助金事業

災害時要援護者支援を行う団体に対する補助金の交付

(7) 災害医療活動対策事業

- ア 災害時医療の訓練等の実施
- イ 災害時医療のぼり旗掲出訓練の実施
- ウ 保健活動グループの訓練の実施

(8) 霧の里防犯防災活動センター運営

(9) 体験型アトラクション事業【新規】

親子などを対象として、楽しみながら防災・減災を学べる体験型防災アトラクションの開催（11月）

令和2年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

2 安全・安心まちづくり推進事業【拡充】

1,967千円

安全・安心なまちづくり活動を推進するため、自治会、緑警察署等と連携し、緑区安全・安心まちづくり推進協議会の運営をはじめ、地域での自主的な防犯活動促進のための情報提供・活動支援を行います。

(1) 緑区安全・安心まちづくり推進協議会の運営

ア 総会の開催（5月）

イ 活動内容

（ア）防犯パトロール物品等の提供

（イ）啓発活動

a 特殊詐欺防止等キャンペーン

（駅頭キャンペーン、イベントでの防犯キャンペーン、啓発チラシ作成・配布等）

b 区民まつり出展（防犯パネル展示、防犯啓発グッズ配布）

(2) 振り込め詐欺被害防止事業【新規】

区内高齢者を対象とした、簡易型自動録音機の配布（10月）

(3) 情報提供・啓発の充実

ア 緑区防犯情報メールの配信

緑警察署から提供される犯罪情報等を横浜市MLシステムで毎日配信

イ 緑区・振り込め詐欺被害防止情報発信拠点事業の登録事業者への情報提供・啓発

ウ 広報よこはまへの啓発記事（振り込め詐欺などの特殊詐欺防止）掲載

エ 子どもの安全を脅かす事件の発生時の連絡体制の充実

情報を必要としている施設（特に未就学の子もたちを預かる施設や小学生に放課後の居場所を提供する施設）に対し、迅速に情報を発信

3 交通安全対策事業

2,802千円

緑警察署及び緑交通安全協会などの関係団体と共に構成している「緑区交通安全対策協議会」として、区内の交通事故減少に向け、交通安全に関する総合的かつ効果的な対策を推進します。特に、高齢者の交通安全や自転車の交通ルール遵守に向けた啓発を重点的に取り組みます。

(1) 緑区交通安全対策協議会の運営

ア 総会の開催及び功労者表彰（4月）

イ 幹事会の開催（年4回）

(2) 交通安全運動推進

ア 各季交通安全運動の実施（駅前広報）

（ア）春の全国交通安全運動・交通事故死ゼロを目指す日（4月）

（イ）夏の交通事故防止運動（7月）

（ウ）秋の全国交通安全運動・交通事故死ゼロを目指す日（9月 区民大会）

（エ）年末の交通事故防止運動（12月）

イ 自転車の交通ルール遵守に向けた啓発

（ア）駅前及び交差点での啓発（5月）

（イ）登校時の高校生への啓発（5月 白山高校、霧が丘高校）

（ウ）自転車駐車ででの啓発（6月 区内4駅自転車駐車場）

令和2年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

- (エ) 民間事業者と連携してVRを活用した自転車保険加入義務化の広報【新規】
- ウ 交通事故発生状況リーフレットの発行（3月）

(3) 交通安全教育・対策

- ア 高齢者交通安全教育・対策
 - (ア) シルバーリーダー連絡協議会幹事会の開催（4回）
 - (イ) 高齢者向け交通安全教育（交通安全シルバーリーダー研修会）の実施（1月）
- イ 児童交通安全教育・対策
 - はまっ子交通あんぜん教室（児童交通安全教育）の実施（6～7月 区内4小学校）
- ウ スクールゾーン対策
 - (ア) スクールゾーン対策協議会全体研修会の実施（4月）
 - (イ) スクールゾーン対策協議会への助成
 - (ウ) 電柱巻標識、路面標示の新設・補修
 - (エ) 横断旗等の配布（1月）

(4) 放置自転車対策

- ア 自転車等放置防止対策協議会の開催（7月 区内4駅）
- イ クリーンキャンペーンの実施（10月 区内4駅）

4 暮らしの衛生推進事業

1,636千円

区民が安全・安心で快適な生活が送れるよう、食中毒や感染症の予防、虫や動物との正しい関わり方について周知・啓発を図ります。

また、発災時における避難所での衛生対策やペット対策について理解を深めていただくよう事業を実施します。

(1) 食品衛生普及啓発事業

- ア 飲食店の営業者及び調理従事者並びに区民に対して「手洗いチェック」や「調理器具等の洗浄度チェック」などの実施
- イ 緑区食品衛生協会等と協働で、区民を対象にした食品衛生知識の普及啓発の実施
食中毒予防キャンペーン（8月）
- ウ 高齢者施設や保育所等に対して正しい手洗いやおう吐物の処理方法等ノロウイルス食中毒予防講習の実施（10月）
- エ 衛生管理が優れた区内飲食店施設等（秀級施設）の紹介、ステッカーの配付（1月）、HACCP（ハサップ）の導入支援、改正食品衛生法の内容周知

(2) 人と動物との共生事業

- ア 犬の放し飼いの防止やフンの持ち帰りのマナーアップ啓発
 - (ア) 飼い主に向けた犬のしつけ方教室の実施（11月）
 - (イ) 窓口でのチラシ等配布
- イ 動物愛護普及啓発
区役所イベントスペースでのパネル等展示（8月）

(3) 安心・快適な暮らし推進事業

- ア 暮らしの中の虫相談
スズメバチをはじめとした危険な昆虫等の注意喚起講座の開催（7月）
- イ アシナガバチ等駆除器材の貸出

令和2年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(4) 災害時に備えた衛生啓発事業

ア 災害時のペット対策啓発

(ア) 災害に備えた心構えを記載した「ペット防災手帳」の配布

(イ) ペット同行避難に関する市民啓発講演会の開催（6月）

(ウ) 地域防災拠点でのペット同行避難訓練の実施、ペット用非常持出品等の展示・紹介、緑区獣医師会との協働による発災時対応の啓発及び飼い主グループの把握と情報提供

イ 地域防災拠点における手洗いや、食品・飲料水、トイレの衛生、防虫対策等の啓発

令和2年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

② いきいき暮らせるまち

25,637千円

5 健康たうん・みどり推進事業【重点】

4,004千円

区民が、生活習慣の改善や生活習慣病の重症化予防及び健全な食生活の実践に取り組むことで、健康寿命を延ばすことができるよう、地域の団体や保健活動推進員、食生活等改善推進員等の関係機関と協働で啓発に取り組みます。さらに、区民が健康づくりに取り組みやすい環境を目指し、地域支援などの仕組みづくりを行います。

(1) 健康づくり月間事業

ア 健康づくり月間イベントとして、区民まつりにおける健康チェック、健康相談、野菜摂取促進等の事業を健康に関連する団体と協働して実施（10月）

イ 区医師会と共催で健康をテーマとした講演会を実施（10月24日 緑公会堂）

(2) 思いやり健康づくりの日事業

健康チェック（歯科相談、栄養相談、健診の啓発等を含む）の実施
（全9回 6月は食育月間キャンペーンと同時開催）

食生活等改善推進員と連携したウォーキングの実施（全6回）

(3) 健康たうん・みどり事業

地域における自主的な健康づくり研修会の実施を支援

(4) みどり食育実践推進事業

ア 食育月間・食育の日キャンペーン

（ア）食育月間キャンペーン

食育月間（6月）に合わせ、体験型食事診断、野菜をもっと食べようキャンペーン、歯みがき相談、健康チェック、地場野菜の販売等の啓発を実施（6月 思いやり健康づくりの日と同時開催）

（イ）食育の日キャンペーン【新規】

食育の日（毎月19日）に合わせ、体験型食事診断、歯科チェック等による食育啓発を実施（年3回）

イ 食事診断システムを活用した体験型食育講座

フードモデルを用いた食事診断システムを活用した体験型食育講座を実施

ウ 緑をたっぷり召し上げれキャンペーン

食生活等改善推進員と協働で野菜摂取量促進キャンペーンを実施（4回）

エ 平常時から考える食の備蓄【新規】

災害時に備えた食の備蓄の重要性を啓発リーフレット等で周知

(5) 若年層の生活習慣病予防講座

生活習慣改善の意識を持ちにくい子育て世代等の若年層を対象に、子育て支援拠点等の対象者が集う地域の場で、生活習慣病予防の動機づけを図る講座を実施（5回）

(6) ミドリウォーキング事業

ア 地域活動団体等と連携したウォーキングを推進するための各種イベントを実施

イ ウォーキング関連情報を掲載したウォーキングマップを増刷、配布

(7) 体験型がん啓発事業【新規】

がんの触診モデル等の使用・展示による幅広い対象に向けた体験型がん検診啓発を実施

令和2年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

6 共に支えあう福祉保健の地域づくり事業【拡充】

7,798千円

身近な地域で誰もが安心して暮らし続けられるよう、共に支え合い、つながりのある緑区を目指して、地域、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ等と協働しながら、緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」を推進・策定します。

また、ひとり暮らし高齢者等に対して見守りや訪問を行っている民生委員・児童委員の活動を支援します。

(1) 地域福祉保健計画推進事業

令和2年度は、第3期計画（平成28～令和2年度）の最終年であることから、第3期計画の最終振返り等を行うとともに、次期（第4期／令和3～7年度）計画の策定を進めます。

- ア みどりのわ・ささえ愛プラン推進策定委員会の開催（8月、12月）
- イ 地区別計画推進策定委員会の開催（11地区）
各地区2回以上開催（6～7月頃、11～1月頃、他）
- ウ 地区別計画代表者連絡会の開催（5月、11月 年2回）
- エ 地区別計画の推進のための事業の実施
- オ 計画取組報告（区社会福祉大会において実施）

(2) 民生委員見守り訪問事業

民生委員・児童委員によるひとり暮らし高齢者等に対する活動を支援します。

- ア ふれあいコールに対する助成
民生委員・児童委員が定期的に電話をかけて安否確認を行う「ふれあいコール事業」に対する助成を行います。
- イ 民生委員活動マップの作成【新規】
緑区の民生委員・児童委員が活動する担当地域を明確にしたマップを作成・整備し、民生委員が訪問活動しやすい環境を整備します。

7 あんしん子育てネットワーク事業

7,523千円

子どもたちの健やかな育ちを支えるため、当事者への講座、地域の子育て支援活動との連携、各種情報提供により、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行います。

(1) 当事者への支援

- ア プレパパ・プレママ教室
土曜・日曜に教室を実施し、就労妊婦やこれから父親になる人の参加を促し、地域で同じ子育てをしていく参加者同士の交流の場とするとともに育児の知識を提供します。
(緑区役所で10回)
- イ 赤ちゃん教室
0歳の第1子と保護者及び妊婦を対象に、育児講座を開催します。
(14か所の会場で各9回 計126回実施)
- ウ 歯つらつ1歳児
1歳児と保護者を対象に、歯みがき練習と虫歯予防教室を実施します。
(1日コース9回、2日コース3回実施)

令和2年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

エ ママのハートバランス事業

養育者の抱える育児不安などの思いを言葉に出し、養育者自身の気持ちを整理することにより、育児不安の軽減や、心のバランスをとっていくことを目指し、個別相談を実施します。（個別相談 年15回、スーパーバイズカンファレンス 年1回）

オ 中学生等キャンパスチャレンジ事業

大学等の多様な資源を活用し、中学生等の学習・体験の場づくりを行います。

(2) 子育て支援

ア 繁忙期の窓口対応等での見守り保育

保育所、児童扶養手当等の繁忙期の個別相談や、乳幼児健診などでのきょうだい児の見守り保育を実施します。

イ 地域での子育て支援活動育成事業

子育てサークルや子育てサロンの活動に助成します。（5団体）

ウ みどり子育て支援連絡会

地域の子育て支援のネットワークの充実を目指し、子育て支援活動団体同士の交流、情報交換等を行います。

(3) 情報提供

ア 子育て支援情報のホームページ・メールマガジン

区内の子育てイベント等をホームページ「みどりっこひろば」とメールマガジンで発信します。（メールマガジン毎月1回配信）

イ みどり子育て応援ガイドブック

区内の子育て情報をガイドブックに集約し、配布します。（3月）

ウ 子ども・家庭支援相談パンフレット

区内の子育てに関する相談窓口案内をパンフレットに集約し、保育所、幼稚園、小中学校等に配布します。（7月）

エ 「みどりっ子カレンダー」

子育て中の家庭に対して、区内の保育・教育施設が地域に開放している行事やサービス等の情報を毎月カレンダー形式で発行し、利用促進を図ります。（毎月）

オ 保育施設のご案内

利用を希望される保護者に各施設の情報を提供するため、緑区版の保育施設のご案内を発行します。（5月、10月）

カ 保育所等利用者説明会・個別相談会

保育施設、幼稚園を中心とした説明会・個別相談会を実施します。
（10月 2回 緑区役所）

キ 乳幼児健診情報提供

乳幼児健診時等に放映する、乳幼児健診の内容や子育て情報を伝える映像の内容を更新します。

ク 放課後事業情報提供

放課後児童クラブ、放課後キッズクラブについて事業説明等のチラシを作成します。

8 保育所すこやか子育て支援事業

2,717千円

緑区の子どもたちに関わる全ての人がつながり、切れ目のない支援を目指して、区内保育施設等とのネットワークの構築を進めます。離乳期のための「離乳食ランチ交流事業」、授乳、おむつ替えや育児相談が気軽にできる「赤ちゃんの駅事業」などを実施します。

また、「あつまれ！みどりっこまつり」を継続することでスタッフ・参加者のネットワークを拡充し、地域の子育て支援を推進します。

令和2年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(1) ネットワーク事業

ア あつまれ！みどりっこまつり

未就学児とその保護者を対象に、手作りおもちゃの作成や親子体操等、親子で参加できるプログラムを公立園と民間園が共に作り上げ、保護者が育児に活かせる内容を提供することで、家庭の子育て力の向上を図ります。

イ 赤ちゃんの駅事業

授乳・調乳・おむつ替え・休憩等ができるスペースを市立保育所等に設置し、地域の親子に開放します。必要に応じて、保護者の育児不安等にも対応することにより、子育ての孤立化を防ぎます。

ウ 地域の子育て支援事業実施施設連絡会

地域の子育て支援事業実施施設が情報共有し連携を深めていくための連絡会を開催し、他施設の事例を共有することで、地域子育て支援の充実を図ります。

(2) 市立保育所での育児支援事業

ア 保育アドバイザー（保育士）派遣事業

地域の子育てサークルの活動を支援し、保育士が地域の親子に育児相談やおもちゃ等を利用した遊びの紹介を行います。

イ 絵本の貸出

園庭開放に参加した地域の親子への絵本の貸出や、お話し会の実施など、親子で本に親しむ機会を増やします。

ウ 園庭開放の拡充

十日市場保育園、竹山保育園においても、育児支援センター園（長津田保育園・鴨居保育園）と同等の週5日の園庭開放を実施し、曜日を問わない子育て支援を行います。

エ 離乳食ランチ交流

調理員・保育士が離乳食の説明をしながら、親子に実物の離乳食を試食してもらい、調理法の工夫等を伝えて、食に関する育児不安の解消につなげます。保育園以外の事業・相談窓口との連携を深め、効果的に事業を実施します。

(3) 市立保育所での地域交流事業

グリーンカーテンを作ることで地球温暖化に対する子どもたちの意識を育むとともに、地域の協力を得ながら、伝承遊びや花苗育成を通じて、高齢者と園児・地域の未就学児等との交流を図ります。

(4) 多言語対応サポート事業【新規】

近年増加している外国語話者からの問い合わせ等に対応するため、自動翻訳機を購入し円滑な対応を図ります。

9 DV対策・児童虐待防止事業

645千円

DV被害者への相談の充実を図り自立を支援するため、弁護士による法律相談を行います。また、児童虐待ケースに関わる職員のスキルアップを目的とした研修を実施します。

(1) DV対策事業

DV問題に造詣の深い弁護士による法律相談の実施（毎月1回）

(2) 児童虐待防止事業

さまざまな課題を抱える家族への支援を行う職員向けのスキルアップ研修

（2回実施予定）

令和2年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

10 青少年地域サポート事業【拡充】

1,479千円

次世代を担う青少年の健全育成推進を目的に、環境づくり等、様々な取組を進めます。また、地域の青少年育成の担い手である市民活動団体等による活動に対して支援を行います。

(1) みどりっこ育成活動支援事業

緑区内の市民活動団体等による青少年育成活動支援

(2) 緑区青少年活動事業

緑区子ども会連絡協議会、緑区山下地区青少年育成会の活動支援

(3) 青少年地域サポート事業

青少年育成に対してより良い社会環境の醸成に向けた啓発活動や地域交流支援

(4) 区内大学等と連携した青少年向け体験講座事業【新規】

区内大学と連携し、中学生を対象に科学技術分野などの実験教室を開催します。

11 高齢者生きがい推進事業

475千円

高齢者がこれまでに培った経験や能力を生かして生涯現役で活躍し、住み慣れた地域でいきいきと暮らしていけるよう、老人クラブの活性化及び加入促進を図り、高齢者の社会参加や交流を促進します。

(1) シルバーフェスティバル等の実施

ア シルバーフェスティバル（3月上旬）

イ 囲碁・将棋大会（12月上旬）

(2) 老人クラブ加入促進のための啓発活動等

12 地域のささえ愛事業

449千円

高齢者や障害者の社会参加を促進するため、緑区社会福祉協議会が独自に行っている、地域の高齢者・障害者が外出する際の移送活動を支援します。

13 高齢者あんしんサポート推進事業

152千円

認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせるよう、警察及び地域包括支援センター等関係機関と連携し、認知症高齢者等SOSネットワーク事業の充実を図るとともに、認知症サポーターを増やすことにより地域のネットワークづくりを進めます。

介護予防の観点から高齢者の日常的な外出を促進するため、地域と協働して高齢者の外出促進につながる地域活動の展開を図ります。

(1) 認知症高齢者等サポート事業

日頃の生活での見守り支援が充実し、認知症高齢者等の行方不明発生時にも見つけやすい地域づくりなどの支援体制を強化します。

令和2年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

- ア 認知症高齢者等SOSネットワークへの登録促進
各種講演会等での登録事業の周知
- イ 認知症サポーター養成の推進
養成講座の実施支援、認知症キャラバン・メイトのつどい（6月、11月）
- ウ 認知症のある方や家族に対する支援体制づくり
地域包括支援センターにおけるケア会議7か所、認知症初期集中支援検討委員会

（2）高齢者外出促進事業

高齢者の外出促進に寄与する情報を集約しリーフレットを活用し、地元自治会と協働して高齢者の外出促進につながる地域活動の展開を図ります。

14 障害者自主製品販売支援事業

395千円

障害者通所施設が行っている自主製品販売を支援することによって、障害者の社会参加や生きがいづくりの場を充実するとともに、区民の障害への理解を促進します。

（1）障害者通所施設のネットワーク強化

区内の自主製品販売を行っている施設が集まる場として立ち上げた「日中活動連絡会」を施設とともに開催します。各施設の要望に沿ったテーマについて情報交換や共有を行い、施設間の連携強化を図りつつ、主体的な運営を促します。

（連絡会の開催 7月、10月、1月）

（2）商品の魅力アップや新製品の開発支援

引き続き外部アドバイザーとともに意見交換を行い、商品の魅力アップや商品カタログの作成、緑区オリジナル製品の開発の支援をします。

（3）共同販売の推進

障害者への区民の理解を促進するために、共同販売の場の設定や販路の拡大支援を行います。また、集客力を高めるため、施設とともに販売促進につながるグッズを作成します。

令和2年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

③ みどりの魅力あふれるまち 58,310千円

15 身近で親しみやすい水辺環境づくり事業 1,600千円

梅田川・岩川沿いに、河川周辺マップ・みどころ案内・洪水ハザード情報等を複合的に掲載した看板の設置を進め、水辺環境の魅力アップや地域防災意識の向上を図ります。

(1) 案内看板の設置事業（岩川）

- ア 看板デザイン及び設置個所の確認（6～7月）
- イ 看板の製作・設置（10～11月）

16 魅力ある公園づくり事業 450千円

区内にある公園の魅力を広く発信するため、令和元年度に更新した公園マップを増刷し、転入者などに向けて配布します。

(1) 緑区公園マップの増刷・配布

- ア 公園マップの増刷（4～6月）
- イ 転入者に向けた配布

17 花と緑あふれるふるさと緑区事業【新規】 2,500千円

緑区制50周年を記念して実施した住み続けたいふるさと緑区植樹事業を継承し、道路や公園などの緑化を進めるとともに、区民を対象とした花苗講座を開催することにより花と緑を主体的に育てるサポーターを育成し、花と緑あふれるまちづくりを目指します。

(1) 街路樹現況調査

街路樹現況調査（10～3月）

(2) 花と緑のサポーター養成講座

養成講座の実施（夏～秋、冬～春の2期）

18 生物多様性保全に向けた遊水地等の環境整備事業【新規・重点】 5,000千円

豊かな自然が残る梅田川遊水地等において、市民団体等と連携して在来種の保全及び生物多様性に配慮した施策を展開し、区民の環境保全の意識を高め、再発見した緑区の魅力を外に発信します。

(1) 連携づくり及び企画検討

- ア 市民団体等との連携づくり（5～1月）
- イ 生き物観察会の企画検討（6～1月）
- ウ 情報発信手法の検討（6～1月）
- エ とりまとめ（2～3月）

令和2年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(2) 「かいぼり」の実施

- ア 事前調査・「かいぼり」実施内容の検討（4～7月）
- イ 「かいぼり」の準備（8～11月）
- ウ 「かいぼり」の実施（12月）

19 みどり！まるごと応援事業【拡充】

4,064千円

緑区は、自然豊かで、歴史的な地域資源も数多く、横浜の臨海部にはない多くの魅力にあふれており、これらを横浜市全体の魅力として発信していきます。

区庁舎での農産物直売所の実施、地産地消の魅力を発信する動画の配信のほか、自然や歴史等の魅力を広く発信する「緑区遺産」登録制度等の取組を進めます。

あわせて、「地域のつながり施設設置事業」の実施を通じて地域の活動を応援します。

(1) とれたてみどり地産地消推進事業

ア 区庁舎直売所

緑区庁舎内における直売所での地元農産物の販売を通して、「農」の魅力をPRするとともに、「農」に対する理解を深めます。

また、JA横浜と共催で実施している地場野菜の直売会を通して、生産者と消費者のコミュニケーションの機会を作ります。

イ 「農」の魅力動画配信

緑区の「農」や地産地消の取組をPRするため、地場野菜の収穫の様子や区内のよこはま地産地消サポート店によるレシピを紹介する番組の制作・放映及び緑区ウェブサイト等で定期的に動画を配信することで、より多くの方に臨場感あふれる「農」の魅力を伝えます。（1本配信）

ウ 飲食店における地産地消の促進

「農」に関する飲食店への情報発信や農家と飲食店との交流会、よこはま地産地消サポート店を巡るスタンプラリー等の実施により、よこはま地産地消サポート店登録数を増やし、飲食店の地産地消を進めます。（交流会 4回）

エ 地産地消情報発信

多くの区民に地産地消や野菜に関心を持っていただけるよう、広報よこはまみどり区版で地産地消コラムの連載、緑区ウェブサイトやフェイスブック等での情報発信を行います。

オ 地産地消講座

区内の畑での収穫体験等を実施することで、「地産地消」の取組を身近に感じてもらいます。（3回）

(2) みどり！魅力再発見事業

ア フォトアーカイブ事業【新規】

緑区役所で収集した写真を整理・公開し、区民が利用できるようにします。

イ 緑区遺産

区内にある歴史的な地域資源として登録された「緑区遺産」の登録証を発行するほか、地域の活動団体等による保全・活用を支援します。

また、緑区遺産を巡るウォーキングイベントを実施し、事業PRを図ります。

令和2年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(3) 地域のつながり施設設置事業

空き地・空き家・空き店舗を活用し、地域のつながりづくりに寄与する施設の設置を促進します。

地域団体に空き地等は無償で利用してもらおう一方、所有者に対し奨励金を支払います。

20 みどり地域まちづくり推進事業

2,928 千円

平成26年12月に改定した「緑区まちづくり計画」の具体化を進めるため、地域住民主体のまちづくり支援を実施します。

(1) 住民主体のまちづくり支援

山下地区、東本郷地区、十日市場地区、霧が丘地区等、住民主体により行われている地域のまちづくりを、専門家派遣等により支援します。また、新たな地区での支援についても、地域の要請に応じ対応します。

改定から5年が経過した「緑区まちづくり計画」について、進捗状況の点検結果および社会情勢の変化等を踏まえた、課題抽出調査を行います。

山下地域交流センター（戦前の木造建築である旧山下小学校分校校舎を改修）の保存活用に向けた検討調査を行います。

(2) みどころ案内サイン

既存のみどころ案内サインを点検し、必要に応じた改修を行います。

21 子どものまちづくりイベント Mini Mini Midori【新規・重点】

3,500 千円

区制50周年を契機に、次世代を担う子ども達がまちづくりに携わる楽しさを知るきっかけを作るため、子ども達が自らまちをつくり・運営するイベントを実施します。

また、企画段階から参加し、イベント当日にはまちのリーダーとして活躍する子ども実行委員を公募します。

22 アートによる緑区の魅力発信事業【新規】

4,500 千円

区制50周年を契機に、さらに魅力あふれるまちを目指し、次世代につなぐまちづくりを進めるとともに地域の活性化を図るため、新たなアートイベントを実施し、緑区の新たな魅力を発信します。

23 みどり環境行動啓発事業【新規】

1,000 千円

地球温暖化対策等に関する啓発のため、イベントを実施します。また、レジ袋などのワンウェイ・プラスチックの削減に向け、キャンペーンを実施します。

令和2年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

24 読書活動推進事業

500千円

「緑区読書活動推進目標」に基づき、子どもから大人まで多くの人が本とふれあい、読書を楽しめるように、緑区の地域性を生かした取組を進めていきます。

(1) 本に親しむ環境づくり

- ア 青少年及び成人を対象とした講演会等の開催
青少年向け講演会のほか、緑図書館25周年記念として成人対象の講演会を実施
- イ 区民まつりにおける読書啓発イベント
- ウ 緑図書館で貸出用CDブックの充実
- エ 赤ちゃん絵本セット貸出
- オ まちライブラリー充実事業
- カ 緑区読書活動目標や区内図書コーナーの広報活動

(2) 家庭・学校・地域での読書活動推進

- 区内読書関連施設との読書活動推進連絡会の開催（2回）
- 絵本や読み聞かせ団体のネットワーク支援・イベント開催

(3) ボランティアの育成と地域のつながりづくり

- 読書活動に係る中高生ボランティア育成のための講座実施

25 緑・芸術文化事業【拡充】

3,611千円

緑区の芸術文化活動の更なる振興を図るため、区民が身近な地域で良質な芸術文化に触れられる活動支援や、芸術文化活動に携わる人材の育成・交流の機会提供を行います。

また、区内芸術文化団体や学校と連携してオリンピック・パラリンピックの機運醸成に取り組めます

(1) 緑・芸術祭事業

- ア 区内芸術文化団体の事業に対する支援
 - (ア) 「緑区民音楽祭」（6月、9月、11月）
若手新人演奏家発掘のためのオーディション、新人演奏会等
 - (イ) 「緑区コーラスのつどい」（11月 緑区民文化センター）
 - (ウ) 「創造と森の声2020」（5～9月 横浜動物の森公園 植物公園予定地）
- イ 区が主催する事業
「サークルミニギャラリー」（8回 緑区役所）
- ウ 緑区民文化センターとの連携事業
「お昼のロビーコンサート」（4回 緑区役所）
- エ 公募事業に対する支援

(2) 交流と人材育成

芸術文化活動に携わる人材の交流・育成を図ることを目的として「提案型ロビーイベント」を募集し、場の提供等を通じて自主的・自立的な活動につながる支援をします。

（年4回 緑区役所）

また、区内文化活動団体に対する舞台技術レベルアップ講座を開催します。

令和2年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(3) Art Trainでオリパラ応援事業【新規】

県立白山高校と連携し制作した、オリンピック・パラリンピックをテーマにしたアート作品をグリーンライン車輻内に貸切展示し、芸術文化の面から盛り上げていきます。

(7・8月)

26 3R推進事業

2,147千円

「ヨコハマ3R夢プラン」を推進するため、「食品ロス」・「プラスチックごみ」削減の啓発に重点的に取り組み、区民・事業者・行政が協働して3R推進事業を展開していきます。

(1) みどり環境行動推進協議会の運営

総会・みどり環境行動推進者表彰式の開催(5月)

(2) 3Rの普及・啓発

ア 小中学校・保育園等への出前講座の開催

イ 店頭キャンペーン(4回)

ウ 各種イベントや地域のまつり等での啓発

エ 自治会の回覧や広報区版などを活用した啓発

オ 緑ECO通信の自治会班回覧(2回)

カ 転入者向け啓発・分別相談(原則として毎週水曜日 緑区役所)

キ 不要品交換ボード「ゆずります・ゆずってください」の運営・管理

ク 衣類(子ども服)のリユースを開催(2回)

(3) リユース食器の利用・促進

リユース食器利用促進補助金の交付

27 きれいなまちづくり事業

2,318千円

緑区からポイ捨てや不法投棄をなくして魅力あふれるまちづくりを目指すため、花いっぱい活動・地域ふれあい活動・駅さわやか活動を展開します。

(1) 花いっぱい活動事業

季節の花苗を沿道に植栽(5月、11月)

(2) 地域ふれあい活動事業

ア 地域清掃活動団体への支援

イ 不法投棄対応

(3) 駅さわやか活動事業

ア 中山駅周辺及び区庁舎周辺の清潔保持

(ア) 中山駅周辺における地域住民・商店街・事業者による早朝清掃を実施(5月、11月)

(イ) 区職員による区庁舎周辺早朝清掃(8月、12月を除く毎月第4金曜日)

イ 駅周辺でのポイ捨て禁止キャンペーンの開催(6回)

中山駅(5月、11月)周辺早朝清掃と同時実施

長津田駅(6月)、鴨居駅(6月)、十日市場駅(6月、11月)

令和2年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

28 緑区商店街振興事業【拡充】 2,810千円 (前年度：足を運んでみよう！商店街事業)

消費者と商店街の顔の見える関係づくりを支援し、大型店にはない商店ならではの“魅力”を地域の消費者に再発見してもらうことで、集客力を高め地元商店街の活性化につなげていきます。

(1) 「緑区商店街ポイントラリー」(開催時期 秋季)

各商店街が持つ地域に根差したサービスや商品を消費者に伝えることとともに、消費者が商店街に足を運んで地元商店街の魅力を再認識してもらうことを目的に、区内7商店街が一体となって企画運営して開催します。

令和2年度は、商店街と引き続き連携しながら、賞品構成、参加店舗数などを一層充実させて実施します。

(2) 「商店街 Special Week」(2年間で7商店街を一巡)【新規】

区内7商店街にキャッチコピーと魅力ある写真をちりばめたポスターを制作し、区役所、駅等公共スペースに掲出するとともに、広報紙の活用やマスメディアと連携してPRし、活性化につなげます。

29 区民まつり事業 5,400千円

区民同士の交流を深め、区民のふるさと意識を醸成するとともに、世代間を超えた連帯と区全体の活性化を図ることを目的として、区内各種団体の代表者で構成されている「緑区民まつり実行委員会」が主体となり、さまざまな世代の参加する「緑区民まつり」を県立四季の森公園で実施します。(10月)

そのほか緑区民まつりPRのためのポスター・リーフレットを作成します。

30 地域振興事業 2,189千円

地域の主体的な活動を支援するため、地域要望の把握や地域への情報提供など、双方向のコミュニケーションを大切に、地域との良好な関係を構築します。

また、自治会活動を通じて地域の振興に貢献している自治会長の労をたたえ、感謝会を開催し、永年在職の自治会長を表彰します。

(1) 緑区自治会町内会長感謝会の開催

自治会長感謝会を開催し、自治会長5年在職者を区長から表彰します。なお、10年以上の自治会長については5年毎に、横浜市自治会町内会長永年在職者表彰式で市長から表彰します。(3月)

(2) 回覧物等配送業務

自治会に対して、市・区から回覧等を依頼することによる負担を軽減するため、月ごとに取りまとめて送付します。

(3) 自治会加入促進の支援

自治会加入に向けたこれまでの画一的な支援だけでなく、その地域の実情に合わせた加入促進を自治会と連携し進めていきます。

令和2年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

31 市民活動パワーアップ支援事業

3,572千円

市民活動や地域活動の一層の活性化を支援するため、緑区市民活動支援センター「みどりーむ」を拠点として、みどりーむ運営委員会（5つの部会で構成）との協働により区民主体で事業を企画・実施します。

また、未来のみどりーむを考える「みどりーむネクスト」における取組を引き続き進めます。

(1) 市民活動セミナー等の開催

- ア 市民活動セミナー（2回）
- イ 地域福祉セミナー（1回）
- ウ 防災・減災講座（2回）
- エ ちょっと先生の夏休み子ども体験講座（8月）等

(2) 市民活動団体交流事業の開催

- ア Open!みどりーむ（2回）
- イ みどり市民活動交流会（9月）
- ウ みどりーむまつり（3月）
- エ サロンふらっと（毎月第3日曜日）

(3) 地域の国際交流事業の開催

- ア 国際交流イベント
日本文化体験会、交流会、日本語発表会など
- イ 日本語ボランティア養成講座
- ウ ウェルカムキットの配布（戸籍課で配布）

(4) 生涯学級及び家庭教育学級事業の開催

- ア 生涯学級（「横浜線ものがたり」「自然を楽しむ講座」（4～6月）ほか2学級程度）、家庭教育学級「イキイキおかあさん」
- イ 生涯学習グループ交流会・研修会の実施

(5) 緑区地域施設間連携会議

- ア 緑区地域施設間連携会議（2回）
- イ 施設間連携研修会の実施（1回）

(6) パソコン相談コーナーの運営

- ア 「めだかの学校」の設置・運営
（緑区市民活動支援センター 毎週火・木・土曜日）
- イ パソコン初心者対象の講習会「めだか塾」の開催（毎月4回）

(7) IT講習会の開催

- ワード講習、エクセル講習等（12回 各地区センター）

32 みどりスポーツ振興事業

1,795千円

区民の健康づくりとスポーツの盛んなまちづくりが一層進むよう、地域スポーツ関係団体の取組支援、区民が身近で気軽にスポーツを楽しめるイベント等を開催します。

また、「東京2020オリンピック・パラリンピック」を緑区から盛り上げる事業を展開します。

令和2年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(1) みどりスポーツフェスティバル

緑区スポーツ推進委員連絡協議会、緑区さわやかスポーツ普及委員会、緑区体育協会の3者による、誰もが気軽にさまざまなスポーツを楽しむことができる総合スポーツ体験型イベントを支援（6月 緑スポーツセンター）

(2) オリンピック・パラリンピック推進事業

ア「東京2020オリンピック・パラリンピック」の開催を見据え、市民が新たなスポーツに触れる機会や実際のトップ選手との交流できるようなイベントや、スポーツを通じた多様性ある社会の実現を目指した取組を実施（2回程度）

イ 緑区ランニングフェスタ2020の開催（12月）

ウ 横浜DeNAベイスターズによるキッズベースボールフェスティバル（11月）

(3) 緑区体育協会事業

加盟する各団体等（16団体、3関連団体）の各種大会やスポーツ振興活動に対する支援

33 広報・広聴事業

2,763千円

区民の生活に役立つ情報や、区政・市政に関する情報を届けるため、ガイド・防災マップを作成するほか、ホームページ等を活用し、様々な広報活動を実施します。

また、区民ニーズを的確に捉え、区政・市政に反映するため、「緑区役所意見箱」などの広聴活動を通し、区民からの意見・要望・提案等を把握します。

(1) みどり区ガイド・防災マップの発行（発行部数15,000部）

(2) 広報スキルアップ研修

(3) 緑区役所意見箱の運営

緑区役所庁舎内に意見箱を設置して、来庁者から区役所運営等に関わる意見・要望・提案をいただき、区民満足度の向上や区政の合理的な運営を図ります。

(4) 「ふれ愛♡トーク」の開催

緑区内で活躍している団体と区長が懇談し、具体的な活動内容や思いについて広報やホームページ等で紹介していきます。

(5) 駅PRボックス活用事業【新規】

区内の駅（6か所）のPRボックスに広報よこはま区版の特集ページの掲出、区の事業に関するチラシを配架します。（毎月1日、10日）

(6) 総合窓口改善事業【新規】

来庁者の利便性向上のため、総合案内の環境を整備します。

34 区民から親しまれる区役所づくり事業

5,663千円

「おもてなしの行政サービス」による区民満足度向上のため、区役所職員の接遇向上や庁舎環境の整備に取り組むとともに、人権問題への「気づき」の場として、職員向け人権啓発研修や区民向け人権啓発講演会を実施します。

また、緑区の発展や区政に功労のあった個人又は団体に対し、表彰を行います。

(1) 接遇向上等研修事業

職員に対する接遇向上研修を実施し、スキルの向上を図ります。（10～11月）

令和2年度 個性ある区づくり推進費 自主企画事業

(2) 人権啓発・職員研修事業

偏見や差別を自分自身の問題としてとらえ、人権問題への「気づき」の機会とするため、区民向け人権啓発講演会を実施します。

また、職員向け人権啓発研修等を実施し、職員の人権意識向上を図ります。

(3) 緑区表彰事業

緑区の発展や区政に功労のあった個人又は団体に対し、その功績を称え、表彰を行います。

(4) 緊急的課題への対応

来庁する区民の皆様に快適に過ごしていただけるように庁舎の美化・緑化を進めるとともに、より利用しやすい区役所となるよう窓口環境等の整備を行います。また、緊急的課題に対応していきます。

令和元年度終了事業

事業名	事業内容	事業終了理由
高校生等自立支援事業	家庭の経済的な問題等により、学習知識や社会経験が不足している高校生等に対し、緑区寄り添い型学習支援事業と連携しながら、将来の就職・進学等の自立に向け、知識や経験を習得してもらうことを目的とした講座を開催しました。	緑区で取り組んできた高校生世代への自立支援は、令和2年度から寄り添い型学習支援事業の一環として18区で実施されることとなりました。そのため、「高校生等自立支援事業」は終了することとし、健康福祉局の事業として引き続き講座を開催していきます。
みどり食育実践推進事業	区民の健康寿命の延伸を目指し、さまざまなライフステージにある区民が、世代にあった「食」に関する正しい知識を持ち、健全な「食」を選択し実践できるよう、食育イベントや体験型食育講座を実施しました。	「健康たうん・みどり推進事業」の細目事業として統合しました。
中学生等キャンパスチャレンジ事業	次世代を担う自立した青少年を育成するため、区内及び市内大学等との協働により、通常の教育課程では得られにくい学習や体験機会を中学生等に提供しました。	あんしん子育てネットワーク事業に統合して引き続き実施し、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行います。
緑区制50周年記念事業	10月に緑区制50周年を迎えるにあたり、区民とともに50周年を祝うため、実行委員会主催の記念事業を実施するとともに、区民に向けたPRを展開しました。	緑区制50周年記念事業が終了したため。
緑区制50周年お祝いメッセージ配付事業	人生の節目となる婚姻届・出生届を出された方に、緑区制50周年のPRとともに結婚・出産のお祝いを記載したメッセージカードを配付し、区民とともに祝う機運を高めました。	緑区制50周年記念事業が終了したため。
住み続けたいふるさと緑区事業	緑区制50周年を記念して、「住み続けたいふるさと緑区」を共通のテーマとし、区内の公共構造物への壁画製作、記念植樹の実施及びオリジナルデザインマンホールの設置を行いました。	自治会や小中学校の協力のもと、壁画7箇所、植樹11箇所、デザインマンホール12箇所の設置を行い、事業の目標とおりの成果を上げたため。 2年度以降は新たに区の魅力発信につながる事業を検討していきます。
子ども達の夢の緑区推進事業	平成21年の緑区制40周年を記念して区内の小中学生が描いた10年後の緑区の姿「夢みどり50プラン」の実現に向けて、50プランに描かれた7つの「ねがい」に基づき、小・中学校と連携して取組を進めました。 緑区制50周年となる元年度は、事業最終年度としてこれまでの活動の集大成となるよう、小・中学校との連携をより一層深め実施しました。	平成21年の事業立ち上げ当初から、10年後の緑区制50周年の年を最終目標とし、事業終了の年として明記していました。また、集大成として区内の子どもたちのメッセージを集約した記念看板を設置し、一定の成果を挙げたので終了します。